

人口ビジョンのポイント

- 福島県の人口(現在184万人)は、現状のまま推移すると、**令和22年に約143万人**と推計。
- 次期「ふくしま創生総合戦略」に基づく取組により、
人口目標として令和22年に150万人程度の維持を目指す。
- 当面、5年後の令和6年に174万人を目指す。

I 人口の現状分析

<総人口の推移と将来推計>

- 福島県の人口は、**約184万人**(令和元年10月1日現在)
- 避難者の動態予測を含めた県独自の人口推計では、県の人口は**令和22年に約143万人**になるものと推計。

<人口動向(自然動態・社会動態)>

- 出生・死亡の増減(自然動態)は、若年女性人口の減少や未婚化、晩婚化等の進行による構造的な要因により、平成15年以降、自然減少の幅が拡大している。
- 転入・転出の状況(社会動態)は、進学期と就職期の若者の転出の影響が大きく、特に20~24歳の就職期に多く見られる。

<人口減少が地域社会に与える影響>

- 令和22年には就業者は61.5万人(平成27年92.2万人)になると予測され、人口の減少による消費の縮小など、地域経済の活力低下が懸念される。
- 地域社会では、子どもや若者の減少に伴い、学校や地域コミュニティの維持が難しくなるとともに、医療・介護などの社会保障や行財政サービスなど、様々な分野で従来の水準維持が困難となるおそれがある。

II 人口の将来展望

1 将来展望に係る県民アンケート結果(概要)

※県民アンケートの結果、主に以下の視点に対する施策を講じる必要がある。

- 【結婚】「雇用の安定(経済力の安定)」「男女が出会う機会づくり」
- 【出産・子育て】「経済的な負担の軽減」「子育て環境の整備」「仕事と家庭の両立」
- 【進路】「県内の魅力的な企業づくり」「県内の魅力的な教育環境の整備」
- 【定住・二地域】「移住前の様々な情報提供」「移住後の仕事や暮らしに関する総合的なサポート」

2 目指すべき将来の姿

※人口の現状分析や県民アンケートの結果を踏まえ、今後に向けて以下の基本理念と3つの基本的視点、人口目標を掲げ、その実現を目指す。

(1) 基本理念 「福島ならではの」地方創生を推進 —「復興」と「地方創生」を両輪で推進—

【基本的な視点】

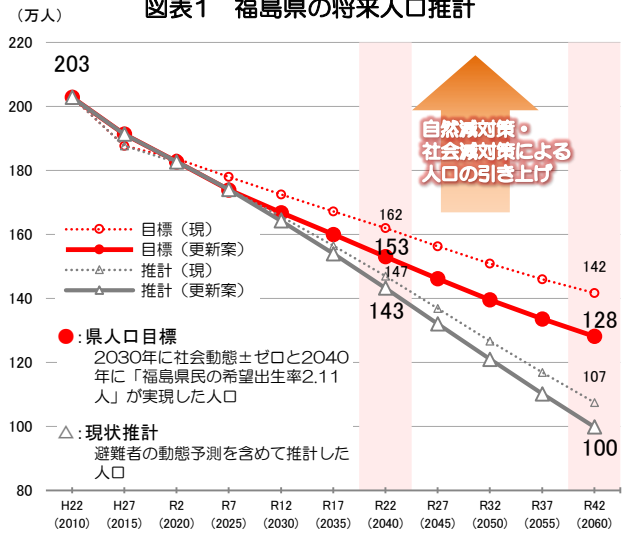
- ① 「ふくしまプライド。」を追求するための、一人ひとりの思いを大切に、挑戦を支える社会の実現
- ② それぞれの強みを発揮し、相互に連携・共働する社会の実現
- ③ 「ふくしま」の地で挑戦する姿を見て、自分も挑戦したくなる、人が人を呼び込む“あこがれの連鎖”を生む社会の実現

(2) 人口目標

【前提条件】

- 出生率：令和22年に**福島県民の希望出生率2.11**を実現(平成30年1.53)
- 移動率：令和12年に**社会動態±ゼロ**を実現
- 上記条件が実現した場合、福島県の人口は令和22年に153万人程度となる見通し

図表1 福島県の将来人口推計



令和22(2040)年に福島県総人口150万人程度の維持を目指す!

持続可能なふくしまの実現